

コロナ禍で困窮する若者・学生を応援

ほっかいどう若者応援プロジェクト

2021.2~7
活動報告書



○ CONTENTS ○

1. お礼の言葉	… P3
2. ほっかいどう若者応援プロジェクトについて	… P4
3. 活動報告	… P6
○スタートアップ! 『第1弾』	
(1) 北海道大学	
○全道各地へ! 『第2弾』	
(2) 札幌大学	
(3) 天使大学	
(4) 北海学園大学	
(5) 釧路公立大学	
(6) 帯広畜産大学	
(7) 北見工業大学	
(8) 札幌学院大学	
(9) 北海道大学函館キャンパス (水産学部)	
(10) 旭川大学	
(11) 名寄市立大学	
(12) 函館大学	
(13) 酪農学園大学	
(14) 北海道教育大釧路キャンパス	
(15) 北海道教育大学函館キャンパス	
(16) 北海道教育大学岩見沢キャンパス	
(17) 北海道千歳リハビリテーション大学	
(18) 室蘭工業大学	
(19) 北海道教育大学札幌キャンパス	
(20) 北海道教育大学旭川キャンパス	
(21) 北星学園大学	
(22) 公立はこだて未来大学	
(23) 日赤北海道看護大学 (北見市)	
(24) 小樽商科大学	
4. 困窮学生からの声	… P11
5. コロナ禍で困窮する学生の現状	… P12
6. 応援して頂いた皆様	… P14

ほっかいどう若者応援プロジェクト

構成	連合北海道、北海道労働者福祉協議会、北海道生活協同組合連合会、 大学生協事業連合北海道地区
共同代表	杉山 元 (連合北海道会長)、出村良平 (道労福協理事長)、 麻田信二 (道生協連会長)
後援	北海道、札幌市、釧路市、小樽市、北見市、室蘭市、帯広市、 旭川市、函館市、江別市、名寄市、岩見沢市



■ お礼のことば

「食」の支援上期(第1弾・第2弾)が終了 新たな「応援の輪」をこれからも

コロナ禍で困窮する一人暮らしの学生に「食」の支援を行うため、2021年1月に設立した「ほっかいどう若者応援プロジェクト」は、企業・団体・道民の皆様から協賛・寄付を募り、北海道や大学所在地の自治体の後援を得て事業をスタートしました。

おかげさまで多くの方々から賛同をいただき、2月の北海道大学における「スタートアップ!第1弾」から4月以降7月にかけて実施した「全道各地へ!第2弾」の取り組みまで、道内19大学24キャンパス・8,330人分の「食」の支援を届けることができました。プロジェクトにお寄せいただきました寄付金は、7月末までに合計3,160万円を超え、企業・団体様から提供された食材等と併せて、各大学での配付食料を充実し、生協のない大学への支援に活かすことができました。

ご協力いただきました皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

プロジェクトは途中、北海道における緊急事態宣言の発出による対面授業の縮小・停止などもあり、日程の大幅な見直しを余儀なくされましたが、開催へ向けた各大学生協や学生、大学関係者の皆様のご尽力により、当初予定していた全ての大学での実施にこぎ着けました。

またプロジェクトを通じて各地域では、地元の大学はもとより企業・団体などの皆さんと新たなつながりを築くことが出来ました。そして「ありがとうございました!」「本当に感謝します」と学生から喜びの声をいただくなど、事前準備や受付など運営にあたった学生委員会の皆さんの活躍を見ていると、徐々にキャンパスに活気が戻ってきたことを感じさせてくれました。

支援に際して行った学生アンケートからは、「バイトのシフトが減らされた」「バイトがない」「仕送りが減った」「お金がない」といった経済的な厳しさや、「友達と会えない」「部活や交流の機会がない」といった孤独感を深める学生の姿が浮き彫りになり、プロジェクト設立当初からの課題を再認識するものとなりました。このようなコロナ禍における学生の窮状は、若者応援プロジェクトの取り組みを伝えるマスコミ報道を通じて広く知られることとなり、各地域において市民やNPO等による学生支援の輪が広がるきっかけになったと思います。

新型コロナの初確認から1年半が過ぎ、未だ収束を見通せませんが、先の見えないコロナ禍の下でも学びを諦めることがないよう、学生の暮らしと心を支えるための継続的な支援が求められます。

ほっかいどう若者応援プロジェクトによる「食」の支援の取り組みは、上期の「第1弾」・「第2弾」の終了で一区切りを迎えましたが、今秋には下期の活動をスタートすべく、新たな計画を持って、これからも学生の皆さんに「応援の輪」を届け、「暮らし」「学び」「コミュニティ」を支えていきたいと思っております。

これまでの温かいご支援に重ねて感謝申し上げますとともに、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

支えよう地域の力で ほっかいどう若者応援プロジェクトの 取り組みについて

— 活動の経過 —

- 道内の大学に通う一人暮らしの学生は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入や仕送りが減るなど生活に困窮し、十分な食事も摂れないだけでなく、リモート授業の長期化で友達との交流機会も減り、孤立感や焦燥感を深めている者が少なくありません。「暮らし」「学び」「コミュニティ」の3つの危機に直面し追い詰められているのです。
こうした状況のなか、「食の支援」によりコロナ禍で困窮する学生の暮らしと心を支えるため、2021年1月、ほっかいどう若者応援プロジェクトは設立されました。
- ほっかいどう若者応援プロジェクトは、連合北海道、北海道労働者福祉協議会、北海道生活協同組合連合会および大学生協事業連合北海道地区の4団体で構成し、共同代表として生協連の麻田会長、労福協の出村理事長、連合北海道の杉山会長が就任。各団体のメンバーによる実行委員会を組織し、北海道と札幌市の後援を得て事業をスタートしました。
スタートアップの第1弾として2月9日・10日に北海道大学、全道各地で4月23日以降7月21日まで第2弾を展開し、計19大学24キャンパスにおいて8,330人分の食料配付を行うことができました。このうち、大学生協のある13大学18キャンパスでは、一人暮らし学生(学部生)の4人に1人にあたる合計6,430人分を用意しました。
- 地域では、大学生協、連合地協やブロック労福協が中心となって地域実行委員会を構成し、事業を実施しました。地元の企業や団体、労組、個人から寄付金や物資を寄贈いただき、大学の協力と所在地の自治体の後援を得て、地域の大学で学ぶ学生への食料支援に取り組みました。
ほっかいどう若者応援プロジェクトは、地元大学に通う学生に対して地域の力による支援を重視しています。地域の皆さんの力で、若者の地元定着や道内企業の人材確保等の課題解決、さらには地域の活性化に繋げ、人口減少時代における持続可能な地域社会の構築に寄与していきたいと考えています。
- ほっかいどう若者応援プロジェクトの活動は、多くの善意に支えられています。3月から開始した協賛寄付は7月末現在、360の企業・団体、134名の個人から多大なご協力を頂き、約3,160万円の寄付金を集約しました。そのうち地域で集められた600万円を超える寄付金は、地域実行委員会が、配付数の拡大や配付食材の充実、生協のない大学への独自支援事業に活用しています。
また、25の企業・団体・個人から協賛物資を提供していただき、より多くの食材を配付することができました。



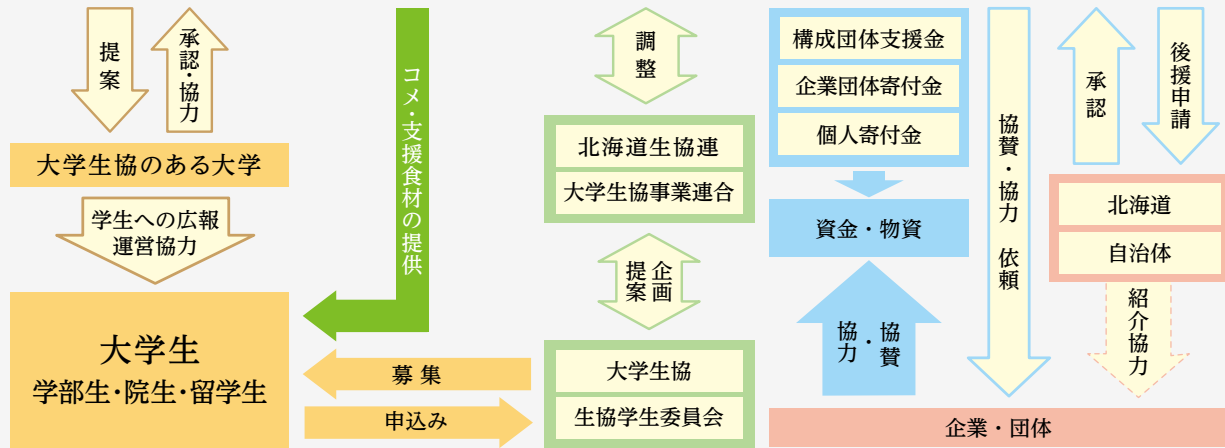
※当プロジェクトの基本セット(お米・カップ麺・レトルトカレー・缶詰)+協賛支援物資により、各大学での「食の支援」のセット内容は変わります。

支援活動スキーム

コロナ禍で困窮する若者・学生応援「一人暮らしの学生に食の支援を!!」

「ほっかいどう若者応援プロジェクト」

【実行委員会／連合北海道・北海道生協連・北海道労福協・大学生協事業連合北海道地区】



— おもな事業内容 —

- 食料支援／一人暮らしの学生を対象に、主食の米をベースとして、レトルト食品や缶詰など日持ちする食材のセットを配付します。
- 相談情報／働くルールなどをまとめた「働くみんなにスターターBOOK」をはじめ相談情報を記載した冊子等を配付します。

— 実施大学一覧 —

★は大学生協のない大学です

大学名	実施日程	支援対象人数	大学名	実施日程	支援対象人数
北海道大学	■ 2月9日(火)~10日(水)	1,000	酪農学園大学	■ 6月17日(木)~18日(金)	1,000
札幌大学	■ 4月23日(金)	350	道教育大釧路キャンパス	■ 6月17日(木)~18日(金)	150
★ 天使大学	■ 4月25日(日)	500	道教育大函館キャンパス	■ 7月2日(金)	200
北海学園大学	■ 4月27日(火)	550	道教育大岩見沢キャンパス	■ 7月6日(火)~8日(木)	200
釧路公立大学	■ 5月11日(火)~12日(水)	250	★ 北海道千歳リハビリテーション大学	■ 7月7日(水)~8日(木)	300
帯広畜産大学	■ 5月13日(木)	230	室蘭工業大学	■ 7月9日(金)	900
北見工業大学	■ 5月21日(金)~22日(土)	300	北星学園大学	■ 7月14日(水)	150
札幌学院大学	■ 5月27日(木)~28日(金)	200	道教育大札幌キャンパス	■ 7月12日(月)~13日(火)	100
北海道大学函館キャンパス	■ 6月4日(金)	200	道教育大旭川キャンパス	■ 7月14日(水)~15日(木)	250
★ 旭川大学	■ 6月8日(火)~11日(金)	250	公立ほこだて未来大学	■ 7月15日(木)	200
★ 名寄市立大学	■ 6月11日(金)	600	★ 日赤北海道看護大学	■ 7月20日(火)	100
★ 函館大学	■ 6月16日(水)	150	小樽商科大学	■ 7月21日(水)	200

活 動 報 告

■ スタートアップ！ 第1弾

1 北海道大学

日 時 2021年2月9日(火)～10日(水) 11:30～14:00
場 所 北大生協北部食堂1階
配布数 1,000人分
概 要 学部生の75%、約9,000人が一人暮らしという北海道大学。申込み開始翌日には定数に達する反響で、アンケートにもコロナ禍での窮状を訴える声が多く寄せられました。テレビや新聞報道により、北大での食料支援を知った方々から寄付や物資の申し出が相次ぐなど、コロナ禍で困窮する学生の現状を知っていただくとともに、若者応援プロジェクトの活動に弾みを付ける契機となりました。



■ 全道各地へ！ 第2弾

2 札幌大学

日 時 4月23日(金)15:00～17:00
場 所 札幌大学カモール1階
配布数 350人分
概 要 大学と大学後援会による協賛金で配付数を増やすとともに、企業・団体から頂いた食材や日用品により配付内容を充実できました。



3 天使大学

日 時 ①札幌中央ライオンズクラブからお米の贈呈式
4月23日(金)15:00～15:30
場 所 7406実習室
概 要 札幌中央ライオンズクラブから「蘭越米」180袋を提供いただき、クラブの三浦会長から田畑天使大学長と章の会(学生会)代表に贈呈されました。



日 時 ②食料配付
4月25日(日)13:00～15:00
場 所 マリアホール
概 要 500人分
生協はありませんが、大学からの要請により、企業・団体から頂いた食材・物資を活用して支援が実現。事前準備や配付作業には学生会の皆さんも協力してくれました。看護師をめざす未来のエッセンシャルワーカーを応援します！

4 北海学園大学

日 時 4月27日(火)16:00～19:00
場 所 生協食堂「G'cafe」
配布数 550人分
概 要 北海道農民連盟からの寄贈米をはじめ、多くの企業・団体から食材が提供されました。学生委員会も受付や運営に加わりました。



5 釧路公立大学

日時 5月11(火)~12日(水)11:00~14:00
場所 生協食堂
配布数 250人分
概要 学生の8割近くが一人暮らし。アンケートでは6割を超える学生が「コロナ禍による生活苦」を訴えており、継続的な支援の必要性を痛感します。地域の寄付金、企業・団体からの提供食材により配付数・内容を拡充しました。



6 帯広畜産大学

日時 5月13日(日)11:30~13:00
場所 帯広畜産大学かしわプラザ
配布数 230人分
概要 7割以上が一人暮らし学生で、アンケートでは、仕送りやバイトの収入減を訴える声が多くです。一人でも多く支援したいと、地域の寄付金や企業・団体の提供食材を活用して配付数を増やしました。



7 北見工業大学

日時 5月21日(金)18:00~20:00
5月22日(土)10:00~15:00
場所 生協食堂
配布数 300人分
概要 9割以上が一人暮らしの自宅外生で、コロナの影響によるバイト収入の減少が生活を直撃しています。食料支援に対する学生の期待も大きく、地域の寄付金や企業団体からの提供食材により配付数・内容を拡充しました。



8 札幌学院大学

日時 5月27日(木)~28日(金)11:00~13:00
場所 生協購買書籍店前ロビー
配布数 250人分
概要 緊急事態宣言下でキャンパス内への立ち入りも制限されていましたが、今こそ学生を応援しようと大学と協議の上、実施しました。配付では感染対策を徹底し、受付には生協職員が扮した「アマビエ」も登場！



9 北海道大学函館キャンパス (水産学部)

日時 6月4日(金)10:00~13:00
場所 厚生会館1階
配布数 200人分
概要 どうなん若者応援プロジェクトと北大とのコラボ企画として開催。大学の拠出により配付人数を増やし、企業団体からも多くの食材を提供いただきました。地元紙では配付の様子とともに、困窮する学生の現状と支援の必要性が伝えられました。



10 旭川大学

日時 6月8日(火)～11日(金)各日12:15～13:00
場所 旭川大学北辰会館
配布数 250人分
概要 生協はありませんが、大学や学生の皆さんにも協力していただき、若者プロジェクト上川実行委員会の独自支援として企画しました。旭川はこの時期、特定措置区域ではありましたが、一刻も早い支援を届けたいとの思いで実施しました。



11 名寄市立大学

日時 6月11日(金)10:00～17:00
場所 多目的ホール
配布数 600人分
概要 生協はありませんが、道北地域の拠点的な公立大学。一人暮らし学生の割合が9割と多く、地域の協力で集められた寄付と提供食材を活用して、上川実行委員会が独自支援を行いました。



12 函館大学

日時 6月16日(水)
場所 函館大学大講堂
配布数 150人分
概要 生協のない大学ですが、どうなん若者プロジェクトによる独自支援として実施しました。大学の協力により、学生への周知、案内を行っていただき、系列の函館短期大学の皆さんへも配付することができました。



13 酪農学園大学

日時 6月17日(木)～18日(金)10:00～15:00
場所 中央館ホール
配布数 1,000人分
概要 より多くの学生を支援したいと、大学との共同企画として実施。企業・団体から寄せられた食材に大学の支援を加えて配付人数を拡大しました。



14 北海道教育大学釧路キャンパス

日時 6月17日(木)～18日(金)11:30～13:30
場所 食堂ホール
配布数 150人分
概要 8割を超える学生が一人暮らしで、釧路キャンパス独自の学生支援も行われています。地域の寄付金、企業・団体の提供食材を加え配付内容を充実しました。



15 北海道教育大学函館キャンパス

日時 7月2日(金)15:00~18:00

場所 厚生会館1階食堂

配布数 200人分

概要

8割を超える学生が一人暮らし。ここでは、運営のほとんどを大学生協学生委員会「がっちゃん」の皆さんが担当しました。地域の寄付金をもとに数を増やし、200人分のセットを配付しました。



16 北海道教育大学岩見沢キャンパス

日時 7月6日(火)~8日(木)15:00~17:00

場所 食堂ホール

配布数 200人分

概要

地域の寄付金をもとに、一人当たり3,000円相当となるよう配付食材も充実しました。「外出が怖くてあまりご飯を食べていなかった。思ったより多く配付していただき嬉しい」「アルバイトも減って困っていたので、たくさん貰えてありがたい」など、学生からは感謝の声が多く寄せられました。



17 北海道千歳リハビリテーション大学

日時 7月7日(水)~8日(木)16:20~17:50

場所 1F演習室

配布数 300人分

概要

生協はありませんが、大学からの要望を受け支援を実現しました。配付数は、当初200人の予定でしたが大学の支援も加えて300人分に拡大。配付準備から運営まで、多くの学生委員会の皆さんが中心となって担いました。



18 室蘭工業大学

日時 7月9日(金)10:00~17:00

場所 生協パレット2階

配布数 900人分

概要

一人暮らし学生の割合が多く、継続した学生支援が求められています。当初は、5月26日の予定でしたが、コロナ禍で大幅延期を余儀なくされ、運営にあたった生協や学生委員会の皆さんにはご苦労おかけしました。地域の寄付金やコープさっぽろ様からの提供物資により支援内容が充実でき、学生も喜んでいました。



19 北海道教育大学札幌キャンパス

日時 7月12日(月)~13日(火)11:30~13:30

場所 食堂ホール

配布数 100人分

概要

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除を待ち、ようやく開催にこぎ着けました。配付会場となった食堂ホールには、12時を過ぎると多くの学生が訪れ、対面授業が再開されたことを改めて感じました。



20 北海道教育大学旭川キャンパス

日 時
場 所
配布数
概 要

7月14日(水)~15日(木)15:00~17:00
福利厚生会館2階
250人分
配付準備が緊急事態宣言・まん延防止等重点措置期間であったため、食材の搬入、仕分け・袋詰めなど準備はすべて大学生協の皆さんが行いました。6月30日の募集開始から24時間で申込が250名に達し、長引くコロナの影響の大きさが感じられました。



21 北星学園大学

日 時
場 所
配布数
概 要

7月14日(水) 15:00~17:00
大学会館3階「食堂」
150人分
緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除により、順次対面授業が始まることから、この日の日程となりました。大学生協学生委員会の皆さんにも協力頂き、事前の会場設営から当日の受付、会場案内、配付まで担う活躍でした。



22 公立はこだて未来大学

日 時
場 所
配布数
概 要

7月15日(木)14:00~17:00
学生食堂屋外
200人分
一人暮らし学生が9割近くを占め、アンケートでは、「バイトがない」「食料が必要」「お金がない」との生活上の悩みが多く、非対面によるコミュニケーション不足を訴える声も少なくありません。当日は猛暑の中、生協、学生委員会の皆さんとともに、準備した食材セット配付しました。



23 日赤北海道看護大学 (北見市)

日 時
場 所
配布数
概 要

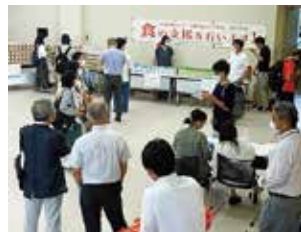
7月20日(火)17:30~19:00
学生ホール
100人分
生協のない大学ですが、地域の寄付金により支援を実施しました。アンケートでは、「バイトが減り生活が苦しい」「実習後では買い物ができず支援はありがたい」との声が寄せられ、ここでもコロナ禍における学生の窮状が明らかです。当日は、看護大職員や学生自治会の協力の下、感染対策を徹底して取り組みました。



24 小樽商科大学

日 時
場 所
配布数
概 要

7月21日(水)12:00~16:00
多目的ホール
200人分
当初は6月初旬の予定も、緊急事態宣言等の影響で延期を余儀なくされましたが、生協や学生委員会の皆さんと力を合わせて、この日の実施にこぎ着けました。企業から頂いた豊富な提供食材も配付して、一人暮らしやバイトがなくなった学生の皆さんに喜んで貰えました。



困窮学生からの声



アルバイトを思うようにできず、生活費を親に支援してもらえない状況であること。親も生活が苦しい中、支援してもらうことがとても心苦しい。今回のように食料を支援していただけるととても助かります。

コロナ禍の影響でバイトもあまりできず、親の職業柄、生活費も節約するよう言われているので、今回のようなプロジェクトをまたやっていただくと助かります。ありがとうございます。



金銭的にやりくりがキツかったため、今回の食糧支援は大変ありがたいです。今後も同様の支援をして頂けると大変助かります。

生活がギリギリなので、食べ物頂けるだけでも生活に余裕ができて助かります。



生活費を切り詰めるのにまず食費から削るので、今回のような食料支援がありがたいです。

バイトに入れなくて、バイト代が稼げないです。こういった支援がありがたいです。ありがとうございます。



バイトは入れているのですが、時間が短いためあまり稼げず、教科書代が高いので中古で買ったとしてもギリギリでした。これからまた学年が上がり、新しい教科書が増えるとなると大変です。

食材調達のための外出に危機感があり、1日1食の生活を送らざるを得なくなっている。



コロナ禍で困窮する学生の現状

「第56回大学生協学生生活実態調査」記者報告会 2021年4月7日(水)



「第56回大学生協学生生活実態調査」記者発表がおこなわれました。

全国大学生協連合会北海道ブロックで、昨年10月におこなった道内の大学生1,000名を対象にした学生生活実態調査をまとめ、記者クラブにて報告会を開催しました。

当日は多くのメディア(テレビ局含め8社)が参加し、コロナ禍における学生の生活への関心が強いと感じました。

アンケートによると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、道内で実家を離れて暮らす大学生のアルバイト平均月収は2万6,370円で、前年より2割以上(6,710円)減り、アルバイト先の営業時間短縮などが影響し、収入が大きく減少している事がわかったほか、アルバイトをしている割合が15.9%減少し、首都圏と比較してもコロナ禍による求人減や雇用打ち切りが道内では深刻化している事がわかりました。

学生生活実態調査の数値から学生の困窮実態が明らかになったことから、この記者発表の報道などをきっかけに、企業、個人様からの『ほっかいどう若者応援プロジェクト』第2弾企画への支援の輪が広がりました。

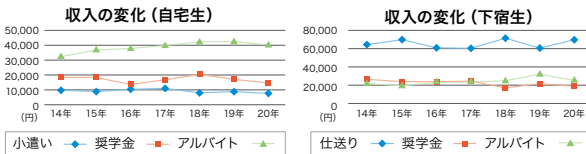
コロナ禍における北海道の学生生活 ~第56回(2020)学生生活実態調査より~

収入・支出が減少

アルバイト収入減少

自宅生 ▲1,460円/月 下宿性 ▲6,710円/月

- ・就労状態の減少が大きく影響している。
- ・近年増加傾向にあった貯金への支出は減少し、生活に余裕がなくなっている様子がうかがえる。



奨学金受給率は減少続く

受給額も減少傾向

自宅生 ▲2,480円/月 下宿性 ▲3,730円/月

- ・将来の返済不安が作用していると考えられる。
- ・給付型奨学金の受給者は9.8%と前年から4.7ポイント増加。

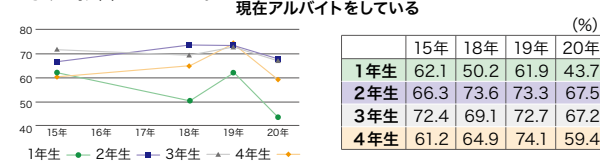
	16年	17年	18年	19年	20年
奨学金受給率	39.5	40.7	35.7	41.0	36.9
貸与型を受給している	38.1	37.9	31.6	36.7	28.9
貸与型のみ受給	36.8	36.8	29.9	34.3	25.4
貸与型+給付型受給	1.3	1.1	1.7	2.4	3.5
給付型を受給している	2.3	2.3	4.4	5.1	9.8
給付型のみ受給	1.0	1.2	2.7	2.7	6.3
無回答・不明	0.8	0.5	1.3	1.4	1.1

アルバイト就労率は減少

半年間(4~9月)のアルバイト就労率は66.9%と前年から15.9ポイント減少。

1年生の減少が特に大きく48.7%(▲26.4ポイント)

- ・コロナ禍の営業自粛や時短営業、雇用打ち切・募集なしなどが強く影響している。



キャンパスに行かない学生生活

オンライン授業受講は全学年で88.0%、1年生では99.7%

1週間の登校日数は「0日・1日」が急増し、平均で2.0日

- ・前年の平均4.5日に比べ半減。「0日」は全学年の6人に1人。

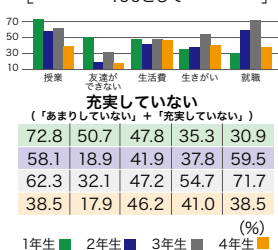
	20年
すべて対面授業で行われている	5.9
すべてオンライン授業で行われている	15.1
対面授業とオンライン授業があり 対面授業が多い	9.8
対面授業とオンライン授業があり オンライン授業が多い	56.4
対面授業とオンライン授業が同じくらい	6.6
大学による休講中	0.1
すでに単位取得済み	4.0
その他	2.0

「学生生活、こんなはずじゃなかった…」

学生生活が「充実している」+「まあ充実している」は72.2%と前年から14.1ポイント減少。

- ・1年生56.9%、2年生73.6%、3年生77.1%、4年生84.5%
- ・充実していない1年生のうち、「友達ができない」ことを不安に感じる学生は約半数。

日常生活で気にかかっていること
[学生生活が充実していないのを] 100として



「孤独な学生」「社会的弱者としての学生」

学生にとって3つの危機

暮らしの危機

「学費や生活費の見通しに不安があり、安定した暮らしを継続できない！」

学びの危機

「Web授業が大変!」「実習ができない!」「進路の見通しが立たない!」

コミュニティの危機

「友達がゼロ」「孤独を感じている」「学び合い・励まし合いができない」

<調査概要>

調査時期：2020年10月~11月(1963年より毎年秋に実施 ※未実施年あり)

調査・全国集計の対象：全国の国公立および私立大学の学部学生回収数11,028(30大学/回収率32.6%)

調査方法：ランダムサンプリング、Web調査

調査項目の概要：収入・支出、奨学金受給、アルバイト、登校日数、オンライン授業状況、サークル所属、就職活動、大学生生活実度、勉強時間、読書時間、大学生協利用状況 など



■ 応援していただいた皆様

● 寄付金

①寄付総額 **31,631,755円**

(第1弾・第2弾を通じた寄付)

内 訳	企業・団体	28,602,755円
	個人	3,029,000円

②寄付件数 **494件**

内 訳	企業・団体	360件★
	個人	134件

★企業・団体 うち労組関係229件 構成団体7件

● 物資を提供していただいた企業・団体

(敬称省略)

株式会社丸善 納谷商店、株式会社はくばく北海道営業所、山川ひとみ、北海道郵便通送株式会社、佐呂間町農業協同組合、札幌市役所、株式会社江戸屋営業本部、カルビー株式会社セールス&マーケティングカンパニー 東日本営業本部、雪印メグミルク株式会社北海道本部、北海道農民連盟、生活クラブ生活協同組合、生活協同組合コープさっぽろ、札幌中央ライオンズクラブ、しれとこ斜里農業協同組合、木田製粉株式会社、北桑園町内会、道央農業協同組合、株式会社丸恭水産、株式会社菊水、江別市役所、日本たばこ産業株式会社道東釧路支店、北海道糖業労働組合北見支部、株式会社ニッポン、とから帯広YMCA (コストコ)

■ コープさっぽろ様より、ほっかいどう若者応援プロジェクトへ募金が贈呈されました【2021年6月17日(木)】



生活協同組合コープさっぽろ様より、コロナ禍で困窮する若者・学生を応援する「ほっかいどう若者応援プロジェクト」の取り組みに賛同していただき、2021年3月21日から店舗並びに宅配にて募金を呼び掛け、多くの方々より「14,985,735円」の善意が寄せられました。6月17日(木)、「ほっかいどう若者応援プロジェクト」へ、この善意の募金が贈呈されました。



※コープさっぽろ・北海道生協連・大学生協事業連合の3団体が連携し、4月20日(火)にコープさっぽろ にしの店にて募金活動を実施



■ 応援していただいた皆様

2021年8月10日まで

■ 企業・団体の皆様 (敬称は省略 ※カタカナ名での掲載もありますのでご容赦ください。)

食・みどり・水を守る道民の会、北海道農民連盟、北海道労働金庫、こくみん共済 coop 北海道推進本部、北海道大学生生活協同組合、北海道学園生活協同組合、北星学園生活協同組合、札幌学院大学生生活協同組合、酪農学園生活協同組合、北海道教育大学生生活協同組合、室蘭工業大学生生活協同組合、小樽商科大学生活協同組合、帯広畜産大学生生活協同組合、北見工業大学生生活協同組合、札幌大学生生活協同組合、釧路公立大学生生活協同組合、公立はこだて未来大学生生活協同組合、協同組合ネット北海道8団体(北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道生活協同組合連合会、生活協同組合コープさっぽろ、北海道労働金庫、ワーカーズコープ連合会北海道事業本部)、株式会社丸善納谷商店(函館市)、株式会社クルーズ、オオハシコンサルタント、株式会社ほくいていホールディングス、北海道郵便通送株式会社、株式会社はくばく、伊東秀子法律事務所、株式会社フクリ企画サービス、株式会社昭和総業、株式会社鈴木工業所、株式会社コスト削減総合研究所北海道、株式会社石狩 DOI ビルドテック、株式会社アイティ・コミュニケーションズ、株式会社ホリイ、大友運送株式会社、札幌建設運送株式会社、ライラック興業株式会社、株式会社栗林商会、北幹警備保障株式会社、株式会社梅内工業、北海道和光純薬株式会社、タイヨウ株式会社、株式会社みんなのこば舎、道路工業株式会社、株式会社桂和ビル、旭イノベックス株式会社、有限会社トシフク、株式会社小笠原印刷(帯広市)、大黒自工株式会社、日本生協連営業本部北海道・東北支所、医療法人北武会本部、札幌中央アーバン株式会社、株式会社ナカヤマ、株式会社北海道防疫サービス、株式会社江別自動車学校、大麻ドライビングスクール、有限会社工作創庫、一般社団法人室蘭観光協会、株式会社北海道中央自動車学校、コクヨ北海道販売株式会社、富久居産業株式会社、札幌インター自動車学校、北海道勤労者住宅生活協同組合、札幌東自動車学校、北海道交通安全協会自動車学園、株式会社北央コンクリート解体、株式会社札幌振興公社、一般社団法人北海道労働文化協会、北海道学校生活協同組合、北海道商工連盟、株式会社麻生自動車センター、北海道川崎建機株式会社、森永乳業北海道株式会社、室蘭市町内会連合会、株式会社北海道典範、日北自動車工業株式会社、美しが丘自動車学校、北海道通運株式会社、社会福祉法人はくろう福祉協会、北海道農業協同組合中央会、一般社団法人北海道労働福祉共済会、明治安田生命保険相互会社、白石中央自動車学園、株式会社アラ、一般財団法人北海道勤労者信用基金協会、ジェイ・アール北海道バス株式会社、株式会社札幌都市開発公社、新函館農業協同組合、佐呂間町農業協同組合、株式会社中央広版社、株式会社文成堂富士印刷、上口建設株式会社、株式会社興伸工機、学校法人札幌大学、札幌大学後援会、ミスタープリンター、釧路センチュリーキャッスルホテル、ピース釧路、株式会社鉄工団地自動車学園、社会福祉法人旭川共生会、株式会社江戸屋(本社/帯広市)、カルビー株式会社、雪印メグミルク株式会社、有限会社サハスネット、社会福祉法人ろうふう会、株式会社緑ケアライフサービス、食みどり水を守る道南地区労農市民会、幕別町農協、函館商工連盟{(株)はこだて柳屋・ひかり商事・佐藤工務店・福田海産(株)・光慶寺・みうら商事・(有)ペリカサービス・(株)梅谷商店・(株)はこせき・(有)ハウスクリーンおおむら}、北秋建設株式会社、日本通運(株)北見支店、北見日通運輸(株)、日通商事(株)北見支店、日通機工(株)北見支店、北見工業大学同窓会北見支部有志一同、日本調理機株式会社、株式会社ふくしサービス、北海道ポールスター、日本通運(株)釧路支店、高橋衛生工業株式会社、株式会社内池建設、丸福建設株式会社、札幌中央ライオンズクラブ、木田製粉株式会社、しれとこ斜里農協、十勝清水町農協、株式会社アスピック、ろうふう函館、有限会社プロジェクト、J A道央(恵庭市)、アカシヤ園芸、株式会社緑進堂、くしろバス株式会社、ステーキ&ハンバーグ。ばらていえ、株式会社マルダグ建築、株式会社ピープル、スター工芸、有限会社丸三釧路テント、有限会社長谷川エンジニア、株式会社 Mee Tasu(ミータス)、奥井商事株式会社、シャトレゼ岩見沢店、ポールスター札幌、岩見沢商工会議所、生活クラブ生活協同組合、株式会社丸恭水産(苫小牧市)、米山隆税理士事務所、(株)マルニ木下水産、社会福祉法人北海道共同募金会、はこだて中央法律事務所、有限会社興和石材工業、日本通運株式会社札幌支店、株式会社喜信堂(名寄市)、日本たばこ産業株式会社 道東・釧路支店、江別市、株式会社菊水(江別市)、コープさっぽろ協会、北桑園町内会、株式会社ニッポン、とちか帯広 YMCA (コストコ)

■ 個人の皆様 (敬称は省略 ※振込の場合はカタカナ名での掲載となりますのでご容赦ください。)

ミズコシ タカトシ、オガワ キエコ、エヒラ エツコ、ノミヤ ヨシノリ、ハシモト ノブオ、ミカミ カズコ、ナカシン カズユキ、オガワ タカコ、ハマノ クニユキ、藤嶋 紀美子、カシノ サイコ、ウエダ カズヨ、ヨシダ ケンイチ、中辻 貞子、トクトメ ミユキ、スズキ ケイイチ、モリタ タケオ、安藤 亮太、ニヘイ サトル、カワムラ カオリ、フジモリ トシヒロ、ツボタ シンイチ、フルノ シゲユキ、オグリ ユキエ、シオダ チカラ、ミト ヤストモ、クドウ コノミ、ババ カナコ、イクシマ ノリアキ、ホツタ ケイコ、カナモト カンチウウ、ムラタ ヒトシ、尾崎 由博、オオタ サトシ、ウジエ カズヒコ、サイトウ ケイジ、カサイ ヨシユキ、重原 祐治、イマイ ノリユキ、ミナミノ ユカ、フナミズ ヒロシ、ミツザキ サトシ、本谷 則夫、ヤマグチ ユウイチ、ミズモト ユウダイ、ヒロハシ ナオコ、アライ ハルカ、ナガサワ ヨシエ、ヤギチエ、スナダ ノブユキ、オオサワ タカコ、木原 弘子、緒方 純子、柿崎 昭子、渡部 港吾、浅野 重光、イワクラ ヨシコ、冨坂 三春、イガタ テイスケ、サイトウ ヤスコ、岩淵 和子、マチユキコ、倉元 祥伍、ソエダ アキシ、カワムラ テツヤ、ワカスギ ミツヒロ、ヤマキ ユウコ、ノガワ クニオ、アズマ ナオミ、菅原 孝司、コバヤシ シゲジ、コバヤシ エイコ、オオリ カズノリ、岡田 和広、工藤 祥久、長谷川 英則、高倉 誠、藤原 義隆、高木 伸彰、沼岡 龍也、佐藤 渉、鹿中 允貴、大和田 惇、柿崎 佑太、石丸 伸博、中川 洋輔、定本 記弥、松嶋 真也、美村 嘉幸、鳥嶋 秀哉、逢坂 敏樹、牧野 勇治、林 和虎、橋田 明典、佐川 謙一、小杉 知史、衣畑 健一、福井 武、渡辺 秀雄、オグラ カナコ、ハシモト タケシ、ササキ オサム、ホソカワ ヤスコ、カネタ フミオ、キクチ ヒデノリ、ムカイ タカフミ、サトウ ミチコ、チバ カズエ、シミズ タケシ、ヤマシタ ミユキ、サトウ ミチコ、ワタナベ トシオ、小笠原 学、後藤 良二、倉田 憲一、藤沢 巧、窪 千鶴子、黒木 恵子、壬生 菊江、イケウチ タツヤ、イケウチ フミヨ、ムラカミ ミチコ、ツボタ ナツミ、オオタニ カツコ、イワイ ヨシコ

■労働組合・関連団体の皆様（敬称は省略）

北海道労働者福祉協議会石狩ブロック、連合北海道札幌地区連合会、私鉄総連北海道、札幌市労働組合連合会（札幌市役所職員組合、札幌市役所労働組合、札幌市交通労働組合、札幌水道労働組合、市立札幌病院職員労働組合、札幌市立高等学校教職員組合、札幌市学校事務労働組合）、私鉄総連定山溪鉄道支部、北海道労働者福祉協議会日高ブロック、連合北海道日高地域協議会、NTT労働組合北海道総支部、北海道退職者連合、連合北海道苫小牧地区連合会、連合北海道石狩地域協議会、連合北海道恵庭地区連合会、北海道労働金庫労働組合、日本製鉄室蘭労働組合、情報労連北海道協議会、東芝ホクト電子労働組合、北海道教職員組合上川支部、連合北海道富良野地区連合会、連合北海道胆振地域協議会、北海道労働者福祉協議会胆振ブロック、連合北海道伊達地区連合会、連合北海道室蘭地区連合会、国鉄労働組合北海道本部、基幹労連北海道本部、北海道電力総連道北ブロック連絡会、鷹栖地区連合会、J P 労組北海道地方本部、北海道季節労働組合、連合北海道日高地区連合会、連合北海道石狩地区連合会、鶴川地区連合会、全日糧労働組合、北海道労働者福祉協議会十勝ブロック、国公関連労働組合連合会北海道連合会、全農林労働組合北海道地方本部、連合北海道十勝地域協議会、連合北海道帯広地区連合会、連合北海道北広島地区連合会、連合北海道初山別地区連合会、連合北海道増毛地区連合会、連合北海道苫前地区連合会、連合北海道留萌地域協議会、連合北海道留萌地区連合会、千歳地区連合会、北海道労働者福祉協議会網走ブロック、ブロック労福協北見地区協議会、J P 労組函館支部、北海道フード連合、連合北海道当別地区連合会、J P 労組石狩支部、J P 労組留萌支部、連合北海道松山地域協議会、檜山ブロック労福協、電力総連北海道電力江差支部、私鉄総連函館バス支部江差分会、J P 労組道南中央支部、全道庁労連檜山総支部、北教組檜山支部、江差地区連合会、上ノ国地区連合会、厚沢部地区連合会、乙部地区連合会、奥尻地区連合会、今金地区連合会、せたな地区連合会、連合北海道上富良地区連合会、連合北海道網走地域協議会、連合北海道北見地区連合会、連合北海道江別地区連合会、連合北海道白老地区連合会、運輸労連北海道地方連合会、全日通労働組合札幌支部、全日通労働組合旭川支部、全日通労働組合釧路支部、ヤマト運輸労働組合北海道ブロック、松岡満運輸労働組合、札幌労働組合、北海道通運労働組合、旭川通運労働組合、岩見沢通運労働組合、日通札幌運輸労働組合、日通函館運輸労働組合、情報労連旭川地区協議会、遠軽地区労働者福祉協議会、北海道教職員組合、連合北海道登別地区連合会、住釧連国富労働組合、連合北海道安平地区連合会、連合北海道西胆振地区連合会、日鉄ファーストテック労働組合、北海道地方森林労連、全労済労働組合北海道分会（道南）、札幌地区連合青年委員会、J P 労組十勝南支部、連合北海道俱知安地区連合会、道季労函館支部、J E C 連合北海道ソーダ労働組合、林野労組森林技術センター分会、自治労北海道本部、連合北海道厚真地区連合会、函館市交通労働組合、私鉄総連十勝バス支部、北海道労働金庫労働組合函館支部、連合北海道八雲地区連合会、幌清労働組合、自治労亀田清掃労働組合、全道庁釧路総支部、自治労釧路地方本部、紙パ連合北海道地方本部、連合北海道上川地区連合会、連合北海道遠軽地区連合会、紋別市労働者福祉協議会、全開発労働組合、全自交函館地域協議会、十勝民間労働組合協議会、自治労士別市労連、八雲町職員労働組合、自治労恵庭市職員労働組合、函館市役所職員労働組合、函館市公共サービス労働組合、高橋病院労組、全日通労働組合帯広支部、札幌通運労働組合、北見通運労働組合、林野労組旭川支部、連合北海道森地区連合会、北教組旭川支部、全農林函館分会、私鉄総連道北バス支部、深川市職員労働組合、自治労札幌地方本部、J R 北海道労組旭川支社支部、J R 北海道労組旭川地本、J R 北海道労組旭川支部、J R 北海道労組北見支部、J R 北海道労組宗谷支部、J R 北海道労組深川支部、今金町職員組合、長万部町職員労働組合、北教組渡島支部、自治労網走市労連、自治労北海道胆振地本、連合北海道函館地区連合会、連合北海道渡島地域協議会、北海道労働者福祉協議会道南ブロック、連合北海道名寄地区連合会、自治労士幌町職員組合、私鉄総連阿寒バス支部、日本製紙労働組合旭川支部、自治労全道庁労連渡島総支部、道電力総連函館ブロック連絡会、北海道療育園労働組合、日通旭川運輸労働組合、J R 北労組函館地区本部、J P 労組上川北支部、全水道函館水道労働組合、音威子府地区労働組合協議会、木古内地区連合会、和寒地区連合会、全日通北見支部、全労済労働組合北海道分会（北見）、連合北海道美幌地区連合会、林野労組北見支部、私鉄総連北見バス支部紋別分会、連合北海道紋別地区連合会、連合北海道斜里地区連合会、私鉄総連北見バス支部、私鉄総連函館バス支部、自治労富良野市労働組合連合会、自治労北海道道南地方本部、北教組函館支部、全道庁労連美深町協議会、連合北海道上川地域協議会、連合北海道旭川地区連合会、全開発函館支部、連合北海道下川地区連合会、自治労日高町職員組合、全自交釧路同志会、こばとハイヤー労働組合共済会 会長 岡澤泰範、北労金労組旭川支部、連合北海道稚内地区連合会、連合北海道宗谷地域協議会、自治労北海道本部書記局一同、J R 北海道労組函館地本、北教組美深支会、J P 労組北海道地本新札幌支部、自治労斜里町職員労働組合連合会、運輸労連室蘭地協、連合北海道公務労協、連合北海道芽室地区連合会、網走地区労福協、自治労北海道道南地方本部、小平地区連合会、連合北海道小樽地区連合会、後志ブロック労福協、連合北海道後志地域協議会、知内町役場職員組合、林野労組根釧東部、J P 労組小樽支部、北教組釧路支部、連合北海道網走地区連合会、函館地区退職者連合、連合東川町地区連合会、自治労全道庁上川総支部、全道庁旭川市協議会、北海道公立学校職員組合、自治労函館環境衛生労働組合、自治労全北海道庁労働組合連合会、私鉄総連くしろバス支部、自治労占冠村職員組合、自治労七飯町労働組合連合会、自治労浜頓別町職員労働組合、自治労北見市職員労働組合、情報労連釧路地区協議会、北海道乳業労働組合、日本製紙労働組合釧路支部、J P 労組上川南支部、栗山地区連合会、空知地区森林労連、J R 総連 J R 北海道労組岩見沢支部、J P 労組北空知支部、連合北海道赤平地区連合会、岩見沢地区退職者連合、夕張地区連合会、連合北海道美唄地区連合会、連合北海道歌志内地区連合会、連合北海道岩見沢地区連合会、三笠地区連合会、全労済労組北海道分会、芦別地区連合会、自治労北海道空知地方本部、北教組空知支部、北労金労組岩見沢支部、釜屋電機労働組合、連合北海道空知地域協議会、空知ブロック労福協、釧路トヨタ労働組合、釧路トヨペット労働組合、トヨタカローラ釧路労働組合、自治労赤平市職員労働組合、北海道電力総連、連合北海道士別地区連合会、長万部地区連合会、鹿部地区連合会、連合北海道知内地区連合会、連合北海道名寄地区連合会、市立函館病院労働組合、自治労札幌地方本部後志ブロック協議会、北海道糖業労働組合北見支部

ご協力ありがとうございました

ほっかいどう 若者応援 プロジェクト

www.wakamono-ouen.com



ほっかいどう若者応援プロジェクト

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6階(連合北海道)

■ 連合北海道

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6階
TEL.011-210-0050

■ 北海道労働者福祉協会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル5階
TEL.011-251-7560

■ 北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区3条4丁目 こくみん共済coop北海道会館4階
TEL.011-841-8601

■ 生活協同組合連合会大学生協事業連合北海道地区

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目 1-1 北大生協会館3階内
TEL.011-726-9148

制作日：2021年8月31日

制作会社：株式会社キョウエイアドインターナショナル



この報告書は赤い羽根共同募金の助成金を受けて制作しています。